

実践事例発表

足立区立東綾瀬保育園

事例 1 本物みたいなジュースをつかってみたい！ (色水あそび)

全然思っている色にならない

そうだ！ラベル付きのペットボトルを用意しよう

なんか臭い匂いがするし、ジュースの色が変わってる

コーラの色は赤と茶色を混ぜればいいんだよ

数日後
机の上は作ったジュースでいっぱい

保育者が教えるのではなく、子ども自身が体験する中で水の変化に気づき、不思議に感じたことを共感し、考えや思いを伝えあっていた。



事例 2 ステージショーごっこ

みんなにショーを見てもらいたいね！どうしたらお客さんが集まるのかな？

ちょっと薄暗いほうがショーっぽいよね

始める時間を知らせよう

ホールを使おう！

椅子を用意しよう

音響係

衣装兼メイク係

歌手

自分たちで役割に気づき遊ぶ

ホールでショーが始まる

友だちとのつながり、関わり合いから遊びが広がる。自分のやりたいことだからこそ自分の思いを伝えようとする。相手の思いを聞き、そのやり取りを繰り返しながら遊びが変化していく。



私立 伊興すみれ保育園

事例 お店屋さんごっこ

2月のお店屋さんごっこに向けて...

イメージ作りで商店街を散歩

小グループになり話し合い

モノを使った表現方法

子どもの姿

- ・やってみてみたいお店が36店舗も出てくる
- ・どのお店にするのかお店を絞れずにいる

保育者の願いや関わり

子どもたちの様子を見ながらヒントを出した

普段自分の意見をあまり言わない子も話しやすくなった

みんな違った考え方が当たり前ということ遊びや話し合いの場を通じて普段から保育者が伝えている

身振り手振りで思いを伝えたり、書いたり、作ったりするなど様々な方法で伝えようとしていた

様々な表現方法があることを学んでほしい

この活動を通して、子どもたちの聴く力が育っていると感じた。それは、子どもたちが自分の思いを保育者に肯定的に受け止めてもらった経験の積み重ねだと思う



研究主題 「自ら思いや願いをもち、学び合う子」の育成

自らの思いや願いをもち(=主体的)、学び合う子(=対話的)と当てはめ、それによる学習活動の深まり(=深い学び)と合わせて「主体的・対話的で深い学び」の具現化をめざした

指導計画の作成・導入

じっくりタイム (主体的)

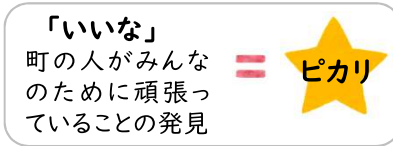
- ・ぶらぶらたんけん
- ・じっくりたんけん
- ・お店の方との関わり
- ・地域の方との関わり



考えるための技法

ねえ、聞いて教えてタイム (対話的)

- ・教師の言葉かけ
- ・イメージマップの活用
- ・ピカリの共有
- ・質問の話し合い
- ・ジャムボードでまとめる



他教科との関わり・

まとめの工夫

発表タイム(深い学び)

- ・ピカリ発表会

グループで発表方法を決める

- ・ポスター・新聞・クイズ
- ・絵本・スライド
- ・ペープサート など

- ・お礼のお手紙

町を見学したり町の人に質問したりして、「ピカリ」を見つけることを通し町の人への愛着を深めることができた。



講評 教育指導課 加藤 敦彦 氏

東綾瀬保育園

- ・「なんで？」の問いが、さらなる気づきとなっている
- ・子どもの思いが実現できる環境構成になっており、子どもの経験から遊びが広がっている

伊興すみれ保育園

- ・話し合いの中で留意すること(相手意識=聴く互いの違いを知る)が明確である
- ・表現は言葉だけではない。言葉だけではない子どもの思いを受け止めている

東加平小学校

- ・10の姿を、幼児教育と小学校教育とで対比しながら明確にしている
- ・導入の工夫がされている

- ・生活科とは・・・
子どもの思いを実現するような学習

今後の対応への期待

- ・幼児教育と小学校教育互いの違いを分かりつないていく
- ・10の姿をてがかりに、幼保小架け橋プログラムを作成する
- ・すべての子どもの「はじめ100か月」の育ちを支える

愛着の形成 が重要

乳幼児期にはアタッチメント(愛着)の形成と豊かな遊びと体験が不可欠です

研修生の報告書より

子どもが自発的に遊ぶ姿を支えることによって主体性が培われていくのだと思う。似ているようで異なる姿を保育者が理解して寄り添うことで、子どもの姿は大きく変わっていくのだと感じる。(保育士)

乳幼児期の愛着形成がとても大切だということを再確認し、その時期に長い時間共に過ごす保育者は、子どもたちが安心して自己表現できる存在でなければならぬと強く感じた。(保育士)

幼保では、子どもの「やってみたい」を大事にしているが、小学校では「教える」ことが多い場面であるように思う。ある程度の知識を教える必要はあると思うが、子どもの「なぜ」や「やってみたい」という気持ちを大切に、主体的な学びにつながる授業を展開していきたい。(小学校教諭)